

謹啓 秋冷の候、貴殿には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、平成二十三年三月十一日に東日本で発生した「東日本大震災」により、東北各県も甚大なる被害をこうむりました。被災地では今なお仮設住宅に暮らし、バスケットボールはおろか日々の生活もままならないという方々も多くおります。そんな状況の中、全国のミニバスケットボールの仲間から多くの支援をいただいたこと、本当にうれしく、そしてまた、心強く感じました。皆様のお気持ちには私たちに立ち上がる勇気と希望を与えてくださいました。感謝の言葉も尽くせないほどです。本当にありがとうございます。

皆様からいただきました、励ましのメッセージ、横断幕等は東北各県大会会場で今なお子どもたちを励まし続けております。そして支援金につきましては、東北各県ミニバスケットボール関係者のために物資支援、交流大会補助等で使わせていただいております。

今後とも、ミニバスケットボールの普及発展に御尽力賜りますようお願い申し上げます。書面をもって御礼のご挨拶とかえさせていただきます。

謹言

平成二十三年八月十六日

東北ミニバスケットボール連盟会長 佐藤 正昭

全国ミニバスケットボール連盟 様

各県ミニバスケットボール連盟 様

チーム関係者

様

拝啓 盛夏の候、ますます御清栄の事とお慶び申し上げます。

平素は諸事にわたり御芳情あふれる御指導を賜り深謝いたしております。

さて、この度の東日本大震災に際しましては、遠路、佐々木会長、矢代事務局長に  
おいでいただき心あたたまる励ましのお言葉を戴き誠にありがとうございます。

また、御厚情あふれる義援金、お見舞いの品を賜り心より御礼申し上げます。

茨城県内、特に北部及び太平洋沿岸の被害は甚大でございましたが、幸いなことに、  
連盟会員、役員生命に関わる惨事には至りませんでした。しかし、体育館施設などの  
被害が甚大でいまだに思うような活動ができない地域があるのが現状です。

度重なる余震や原子力の放射能の問題など、心配事はまだまだありますが、皆様に戴い  
た励ましのお言葉をエネルギーにし、義援金、お見舞いの品を有効に活用させていただ  
き、『協力一致』で一日でも早く子供たちの笑顔が戻るよう役員一同努力してまいりた  
いと存じます。

本来ならばお伺いして、「ご挨拶申し上げますのが本意ですが、とりあえず書中をもって  
御礼申し上げます。

敬具

平成二十三年八月一日

茨城県ミニバスケットボール連盟 会長 加藤孝幸



平成 23 年 9 月 16 日

全国ミニバスケット連盟

会長 佐々木 民義様

五戸ひばりスポーツ少年団

後援会 会長 山野 巳幸

御寄贈お礼

初秋の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、バスケットボールを御寄贈いただき、誠にありがとうございます。東日本大震災の際には、我がチームの子ども達は怪我や事故がなく、現在も元気に過ごすことができおります。この度いただいたボールを練習に役立て、ますます身体と心を鍛え、成長させたいと思います。

全国の皆様の温かいお気持ちに感謝しています。

担当

ひばり事務担当 教諭 小鹿道子

電話 0178-62-2820

FAX 0178-62-7179

